



今年度も春から夏にかけて、さまざまなイベントが開催されました。「ママの為のリフレッシュサロン」、「アートジャーニー」、「親子星空探検隊」は、通年の人気シリーズイベント。6/22の「キッズ★フェスタ」には大勢のお客様にご来場いただきました！ 5月の大型連休と夏休みには茗溪学園の高校生が、小学生の勉強をサポートしてくれました。大人気スギテツさんの楽しいコンサートは6/15、今年もおおたかの森に！ 7/6の「宇宙科学教室」はセンターでの実験教室の後、つくば市へ移動してのサイエンスツアーを行いました。（星野）

今月の選書
by こども図書館

ねこはるすばん

『ねこはるすばん』
作・町田尚子／ほるぷ出版

人間が出かけているときにねこはどんな風にお留守番をしていると思いますか？ もしかしたら、ヒゲのむくまま気の向くままお家を抜け出して、お出かけしてるのかもしれませんが。この絵本に出てくるねこは、カフェでのをうるおして、そのあとはヘアサロンでプロに身だしなみを整えてもらって、本屋、映画館など、色々な場所へ行き1日を満喫しているんだって！ 私たちが知らないだけで、ねこ達のお留守番って意外と忙しいのかも。みなさんも犬やねこなどの動物と一緒に暮らしていたら、自分がない間に何をしているのか考えてみるのも面白いかもしれませんね。（こども図書館・高藤）

編集後記

例年以上に厳しい暑さが続くおおたかの森。せめて夜空くらいは涼しげに眺めたいと願うこのごろです。8月後半ともなれば日没からほどなく、織姫星と彦星が天高く目立ちます。今年の「伝統的七夕」は8/29(金)。七夕は古来、明治初頭まで使われた旧暦の7/7の年中行事でした。当夜の南西に輝くお月様は必ず三日月と半月の間くらいの形となり、恋人たちが天の川での逢瀬を楽しむ小舟に見立てられました。国立天文台は梅雨のまった中の現代の七夕に対し、晴天率の高い旧暦の7/7にあたる日を「伝統的七夕」として、星空に親しもうと呼びかけています。お月見は今でも旧暦の十五夜にするのですから、七夕も本来の星空で楽しむ文化を継承したいものですね。（編集・星野）

特集 流山市おおたかの森センターは今年で開館 10 周年！ これまでのあゆみを振り返ります。（中面）



流山市おおたかの森センターと 2025 年 夏号

地域をつなぎ

寄り添うジャーナル誌。

Vol.9

[編集・発行] 流山市おおたかの森センター
〒270-0128 千葉県流山市おおたかの森西 2-13-1
TEL.04-7159-7031 FAX.04-7159-7062 Nagareyama City Otakanomori Center
2-13-1 Otakanomori Nishi, Nagareyama City, Chiba 270-0128, Japan

[発行日] 2025 年 8 月 12 日
[印刷] 流山市おおたかの森センター [責任者] 野口恵一

Instagram @otakanomori_center X @otakanomoriCity

おおたかの森センターからのお知らせ

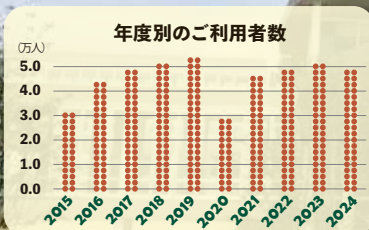
今年も暑い夏。涼しい中で夏休みの宿題や工作、怠けないように体を動かしてみませんか。おおたかの森センターでは通常のイベントはもちろん、夏休み限定のイベントもあります！ 思いっきり体を動かす「小学生向け運動あそび」、中高生必須の「小論文対策講座」、おうちで眠っている壊れたおもちゃを修理してくれる「おもちゃ病院」、体を動かしてリフレッシュしたい大人の方向けの「リフレッシュサロン」、親子で楽しく涼しいホールで体操する「わくわく親子体操」、12月7日に開催予定の「クリスマス会」に向けて練習を開始する「レッツ★ダンシング」など、多彩なイベントが開催されます。

イベントのご予約・お問い合わせは、おおたかの森センター(☎04-7159-7031)へお電話または窓口まで。詳細は『広報ながれやま』、センターHP等をご確認ください。（谷澤）

おもちゃ病院（昨年度の会場風景）

おおたかの森センター開館10周年

流山市おおたかの森センターは、今年4月1日で開館10周年を迎えました。
通算利用者数は45万人を超え、数多くの皆さまにご利用いただき、改めて御礼申し上げます。



2015年4月4日に祝賀会を開催

10年の間には、会議室やホールの貸出だけではなく、「キッズ★フェスタ」や「クリスマス会」など、当センターとして独自のイベントを企画・開催してまいりました。そのうちのごく一部ですが、当時のポスターをご紹介します。(島中)



今後も皆さまの興味・ご関心のあるイベントを企画いたしますので引き続き当センターをご愛顧願います。

▶ 漫画家の横島一(ヨコシマヒツツ)さんに描いていただいた「おおたか」のイラスト。職員が着用するポロシャツのエンブレムに使用しています。

サンコーテクノプラザ
南流山児童センター

流山市南流山 10-2-1



7月下旬、猛暑が続く午後4時ごろ、南流山児童センターを訪れた。日がだいぶ傾いたとはいえまだ30度はある中でも利用者が多いことに驚いた。

南流山児童センター(以後、当施設と記述)は旧南流山中学校(現南流山第二小学校)の敷地に2022年に建てられた。小椿センター長に館内を案内していただいた。1Fにカフェ、ラウンジ等が、2Fにゆうぎ室、調理活動室、子育て相談室、会議室等が、3Fに体育館室がある。さらに、同じ3Fには、地域図書館の児童図書と4Fには一般図書のコーナーもある市内初の複合施設となっている。

当施設は、18歳までの子ども達が、登録をすれば誰

でも自由に活用できる。この日も体育室ではスタッフが見守る中、たくさん子ども達が活き活きと遊んでいた。さらに、この複合施設は市外の方でも登録をすれば利用ができるというのも魅力的で、これからの地域連携のモデルとなると思った。

まだ来館されていない方は、ぜひ一度訪れていただきたい。カフェで飲み物を買って読書するのもお勧めである。心地よい非日常が味わえるはずである。当施設は0歳児からシニアまでがゆったりと楽しいひと時を過ごすことが出来るリゾート的施設だと強く感じた。(野口)



ゆうぎ室



工作室



調理活動室



会議室



併設の南流山地域図書館

見マ来マ
なっ得!

家族の絆 防犯・防災

9月1日は「防災の日」ということで、当館では少し早く5月18日に「家族の絆防犯・防災」を開催しました。流山警察署のご協力の元、近年頻発している様々な犯罪から身を守る防犯対策について、お子様にも楽しくわかりやすく、すぐに出来る護身術など直接警察官に教えていただきました。また移動交番も開設され、警察制服を着ての写真撮影会を行いました。この

他、社会福祉協議会のご協力による盲目体験・車椅子体験では、日頃感じない段差などへの気づきや大変さを体験しました。終了後は、ポリ袋で作った簡単焼きそばとごはんの試食会です。参加者からは「全てがとても貴重な体験でした」「手をつかまれた時の外し方など、子供が大きくなるにつれて一人行動も増えるので、知っておいて損はないと思った」「学校などでも実施があると良い」「実際に体験することが出来ると見方も変わり興味がわきました」「座学だけでなく実際に体験でき大変有意義だった」という感想を多数いただきました。ぜひ「もし災害が起きたら」をテーマにご家族で一度話合ってみてはいかがでしょうか。(谷澤)



館長一筆箋



残暑お見舞い申し上げます。昨年より早い梅雨明けとなり、猛暑が続いています。毎日、熱中症で搬送されるニュースと水の事故のニュースも相次いでいます。自分の命を守る心構えと対策が必要です。

話は変わりますが、戦後80年となる今年の夏。30年ほど前、私が我孫子の小学校に勤めていた際、総合的な学習の時間で「戦争」をテーマに学習しました。その学習の一つとして我孫子にお住いの被爆者の女性からお話をお聞きました。

女性には小学校1年生の息子さんがいました。昭和20年8月6日の朝、ちょっとしたことでつい小言を言って送り出したそうです。その後、原爆が投下され多くの方が犠牲になりました。女性は広島町の町をくまなく探しましたが息子さんは見つかりませんでした。「なぜ快く笑顔で送り出してあげられなかったのか」という後悔ばかりが何十年経っても心から離れないと涙ながらに語ってくれました。聞いていた6年生のほとんどが涙を流していました。忘れられない体験です。この夏も広島、長崎で平和祈念式典が行われました。

私も戦後生まれですが、「平和」について真剣に考えなくてはと強く感じます。(野口)